

PFOS・PFOAの検査結果(令和6年度)

小俣配水場系統の検査を7月4日に実施しました。

単位:ng/ℓ

種別	配水系統	水源	採水場所	目標値	検査結果	採水日
				PFOSとPFOAの合計値		
浄水	小俣配水場系統	宮前第1・第2水源 南勢水道	中小俣公園跡地	50以下	10.4	令和6年4月4日
					10.1	令和6年7月4日
原水	小俣配水場系統	宮前第1水源	宮前第1水源地	50以下	6.7	令和6年4月4日
					7.7	令和6年7月4日
		宮前第2水源	宮前第2水源地	50以下	24.0	令和6年4月4日
					19.4	令和6年7月4日

※南勢水道は5ng/ℓ以下(R6.2月)

ng(ナノグラム)・・・ 1ngは10億分の1g(グラム)・百万分の1mg(ミリグラム)

原水・・・・・・・ 地下水や河川から取水する水道のもととなる水

浄水・・・・・・・ 原水から消毒等の処理をして作られた水

PFOS・PFOAについて

PFOS・PFOAとは

▼有機フッ素化合物の一種で、油分を弾くコーティング剤、泡消火剤、半導体などに用いられた物質ですが、いったん自然界に出ると長期間、分解されず環境中に留まることが分かっています。

▼人体への影響として、コレステロール値の上昇、発がん、免疫系等との関連が報告されており、世界保健機関(WHO)の国際がん研究機関は、PFOAに発がん性があると認定しました。
どの程度の量が体に入ると健康への影響が出るのか、明らかにされておらず、これらの物質の健康への影響について、日本でも研究を本格化させるとしています。

▼日本では令和2年に「水質管理目標設定項目」として位置づけられ、暫定目標値は「PFOS及びPFOAの量の合計として50ng(ナノグラム)/L以下」です。
この数値は、体重50kgの人が生涯にわたってPFOS・PFOAを50ng含んだ水を毎日2L(リットル)飲用しても、健康に影響が生じないと考えられる水準を基に設定されたものとされています。

市の対応状況について

市では令和2年度より検査を行い、暫定目標値を下回っていることを確認しています。今後も国の基準に適切に対応し、安全な水の供給に努めていきます。